

第9期柏市高齢者いきいきプラン2-1パブリックコメント実施結果について

実施期間：令和5年11月21日（火）から令和5年12月20日（水）まで

パブリックコメント提出件数（人数）：2件（2名）

内容及び回答：いただいた意見の内容及びそれに対する市の考えは以下のとおりです。

また、ご意見の内容は一部原文ではなく、要旨として記載しております。

No.	ご意見	市の考え方	ページ
1	<p>包括ケアの中の「生活支援」の中に e スポーツを組み込む事をオススメします。</p> <p>多くの自治体でも高齢者の健康寿命の延伸の効果を狙って e スポーツやゲームを活用する取り組みが行われています。これからの時代の高齢者はゲームにも慣れ親しんだ世代が増えて行く事も予想されますしゲーム等であれば若者世代の興味や関心も持って貰える可能性が高くなり、市が e スポーツ部などを結成して積極的に取り組む姿勢を見せる事で若者向けに「柏市は e スポーツをシニア向けにもやっている」というアピールも出来る為、将来的に居住の選択肢の候補に入れる人の母数が増える事にも繋げられると考えます。また、ゲームは世代を超えて楽しむ事ができるツールでもありイベント等で若者世代が参加しやすい雰囲気になれば介護業界への興味や高齢化社会を考えるきっかけづくりに役立つかとも思います。また、e スポーツは既存の地域団体の活動にはこれまであまり馴染みが無かったコンテンツかとも考えられますので従来の地域活動団体の行っている内容には今まで興味がなかった人達を「e スポーツやゲームであれば地域活動に参加しても良いかな」という層を掘り起こす良いコンテンツであると考えます。</p>	<p>健康寿命の延伸については、高齢者一人ひとりが主体的にフレイル予防や生活習慣病対策に取り組めるよう事業を行っており、現役世代からの健康意識向上にも取り組んでいるところです。</p> <p>ご意見いただいた e スポーツについても、高齢者のいきがづくりや認知症予防等、様々な効果が期待できるだけでなく、年齢や場所に捉われない交流も可能であると考えられることから、本市でも今後事業として実施することを視野に入れ、現在試験的にイベントを開催する予定です。</p>	39, 45

No.	ご意見	市の考え方	ページ
2	<p>人生 100 年、柏ビレジ自治会の高齢化率 56%となり、当自治会では、在宅で一生暮らすには、制度導入だけでなく、介護保険制度の仕組み・サービス内容および自身の機能改善等の住民・家族の知識向上が大変重要と考え、当地域担当の柏北部地域包括支援センターと近隣に創設された医療創生大学国際看護学部の先生方に相談、「柏ビレジ老年学講座」を組成し、2022 年度に、各テーマを決め 7 回の講座を開催し、延べ 467 名の参加を頂きました。</p> <p>2023 年度も定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスの導入を記念し、シンポジウムおよび介護人材不足の一部代替の可能な介護ロボット等の展示会を予定しています。併せて、運転免許返納者の増加を見越し、コミュニティバスの導入も進めております。</p> <p>第 9 期いきいきプラン 21 の期間中は、柏北部地域包括支援センターを核にして、医療創生大学国際看護学部の先生方、ふるさと協議会・各町会と連携し、この老年学講座の地域を拡大し、開催、また「国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター」他の介護・医療に関する先端的知識やそれに基づくテキスト等をこの老年学講座に取り入れていきたいと思っています。それが、柏市の進めている「地域包括ケアシステムの進化・推進」に繋がっていくと思います。</p>	<p>本計画では「多様な主体の連携による地域づくりの推進」を施策の一つに掲げ、地域での自主活動やボランティア活動などが活発に行われ、地域住民同士が支えあえる地域づくりの推進を目指しています。また、今後本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎えるにあたり、地域主体の取り組みも必要不可欠となります。</p> <p>貴自治会におかれましては、これらの取り組みが先駆的に行われており、地域包括ケアシステムの深化・推進の大きな後押しとなっています。</p> <p>それぞれの地域で、その特色に合った地域づくりが推進されるよう、本計画の各論に具体の事業を示しています。</p>	39, 46